

乳がん

早期発見が命を救います



乳がんとは?

乳がんは、乳房の組織に異常な細胞が形成されることで発生し、発見されずに放置されると転移する可能性があります。

統計

ロサンゼルス郡では、乳がんは2019年、女性の早すぎる死因の第2位でした。

乳がんの約85%は、乳がんの家族歴のない女性に発生しています。

アメリカでは、女性の8人に1人が、生涯を通じて乳がんになると言われています。

乳がんと健康の公平性

- 黒人女性が乳がんで死亡する確率は白人女性に比べ40%高くなっています。
- 黒人女性は治療が困難なタイプの乳がんと診断される確率が2倍になっています。
- アッシュケナー系ユダヤ人女性は、BRCA遺伝子変異を有する割合が高いため、乳がんのリスクが高くなっています。
- カリフォルニア州のネイティブ・ハワイアンおよびその他の太平洋諸島住民(NHPI)女性の乳がん死亡率は、非ヒスパニック系白人女性よりも33%高くなっています。
- アメリカでは、ラテン系女性は白人女性よりも遅い段階で診断される傾向があります。

環境要因

発表された研究で、**プラスチック、化粧品、農薬**の生産に関わるような環境毒素と乳がんの関連性が立証されています。

環境毒素への曝露は、住んでいる場所、職業、使用又は消費する製品によりさまざまです。栄養価の高い食べ物や体を動かすスペースへのアクセスは、乳がんのリスクを減少させるために重要になります。環境要因は、制度的差別の影響を受けています。



検査に関する勧告事項

マンモグラフィ検診は40~74歳の女性の乳がんによる死亡者数を減少させます。ロサンゼルス郡では滞在資格に関わらず、保険未加入、保険でカバーされていない、低所得の女性を対象に、低価格又は無料のマンモグラフィ検診の受診が提供されています。お近くのコミュニティ・クリニックはこちらからお探してください。 bit.ly/BreastCancerScreeningClinics

トランスジェンダーの男性や女性、インターセックス、ノンバイナリーやジェンダーキアの人々で乳がん検診が必要な人もいます。マンモグラフィの必要性は、年齢、出生時の性別、ホルモン剤の使用、胸部の手術歴や家族歴によって異なります。

40~49歳



新たなガイドラインでは、すべての女性が40歳で検診を開始し、2年ごとに継続することを推奨しています。40歳からマンモグラフィを開始することで、命を救うことにつながります。

50~74歳



2年ごとにマンモグラフィ検診の受診が推奨されています。

75歳以上



2年ごとにマンモグラフィ検診を引き続き行うことができます。

*勧告は、米国予防医療専門委員会(USPSTF)から出されたものです。

乳がんのリスクを下げるにはどうすれば良いでしょうか?



アルコールを飲まない又は摂取量を制限する



栄養価の高い食事を摂り、健康的な体重を維持する



定期的に体を動かす



授乳を行う(該当する場合)

ロサンゼルス郡のリソース

ロサンゼルス郡では、滞在資格に関係なく全ての住民が、多くの場合、**乳がん検診および子宮頸がん検診を保健サービス局を通じて、無料または低価格で受けることができます**。こちらをご覧ください。 bit.ly/BreastCancerScreeningClinics

「**Every Woman Counts (女性は誰もが大切な存在)**」は、カリフォルニア州の恵まれない人々に、**乳がんおよび子宮頸がんの検診と診断サービスを無料で提供**しています。こちらをご覧ください。 bit.ly/EveryWomanCounts

カリフォルニア州にお住まいの対象者は、**乳がん・子宮頸がん治療プログラム**を通じて、**無料で治療を受けることができます**。こちらをご覧ください。 bit.ly/BreastandCervicalCancerTreatmentProgram

乳がん検診や治療に関する情報は 211LA.org をご覧ください。